



社会課題

日本のエネルギーの安定供給・強靱化に向けた
電力市場の自由化・安定化

■ 取り組み概要

- ✓ MUFGは東京商品取引所の参加資格を取得し、電力先物取引・清算受託業務を開始
また現物取引資格を持つ株式会社eClearへ49%出資し、先物・現物の両市場に参入
- ✓ 政府において「エネルギーの安定供給」が重要論点となる中、関連部門が連携し、市場アクセスの改善や関連事業者向けのヘッジインフラ構築を通じて、電力価格の予見性向上と安定供給に貢献



日本の電力市場においては、自由化は認められているものの、市場が未成熟であり、与信リスク等の課題があった

考
え
た
こ
と
M
U
F
G
が

欧米の先行事例では、金融機関が市場の信頼性やリスク管理に大きく貢献しており、日本でも同様の仕組みが必要と考え、自社の強みを活かして事業化・ファイナンス支援に踏み切った

MUFG として電力先物取引の取引受託・清算受託を実施することにより、電力先物市場の取引量増加を通じて電力取引市場全体における価格ヘッジ機能の向上へ貢献

株式会社eClearの取引拡大・機能拡張を行うことで、電力の現物取引においてより充実したサービスを提供



実
現
す
る
こ
と
M
U
F
G
が

ストーリー2

電力の先物市場・現物市場の双方に新規参入

■ 電力の先物市場・現物市場の双方に新規参入

- 2024年9月に株式会社東京商品取引所（TOCOM）の取引参加者資格・清算参加者資格を取得し、市場部門で電力先物取引・清算受託業務を開始。また、市場部門が電力現物取引資格を持つ株式会社eClearに49%出資
- 政府において「エネルギーの安定供給」が重要論点となる中、関連部門が連携し、電力の先物市場と現物市場の双方に参入し、取引所へのアクセス改善や関連事業者へのヘッジインフラ構築を通じて、電力取引の価格予見性向上や価格ヘッジ機能拡大をめざす
- さらに、株式会社eClearと超大型ファイナンススキームを組成し、電力現物先渡市場・先物市場におけるクリアリング業務を支援。これにより、電力供給の安定化を図り、社会的価値と経済的価値の創造に寄与

■ MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ 電力の先物市場及び現物市場へ新規参入
 - TOCOMの取引・清算参加資格取得、業務開始
 - 電力現物取引資格をもつ企業へ出資
 - 卸電力の現物取引におけるカウンターパーティリスク低減のサービスを提供

社会的インパクト・達成したい状況

短～中期

- ✓ 関連事業者へのヘッジインフラ構築
- ✓ お客さまの電力取引所へのアクセス改善
- ✓ 価格予見性の向上

長期

- ✓ 電力先物市場の取引量の増加と価格ヘッジ機能の向上
- ✓ 電力先物・現物市場取引等の拡大と機能拡張

ストーリー2

電力の先物市場・現物市場の双方に新規参入

■担い手は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A 日本の電力市場は自由化が進む一方で、市場が未整備で円滑な取引が進んでいないという課題があります。その状況を改善し、国内で適切な取引が行われる市場を作ることが重要だと考えています。欧米では失敗や混乱を経ながらも、当局と民間が協力して市場を整備してきた経験から、日本のエネルギー環境に合わせたより良い市場を民間主導で築き、社会に価値を還元したいと考えています。

Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A 今後もファイナンスを通じて社会的意義のある事業を支援し、グループ全体の価値向上と社会への貢献を続けていきたいと考えています。
また、電力だけでなく燃料や排出権など周辺領域にも広がりを持たせ、日本の産業や社会全体にインパクトを与えられるよう、今後も挑戦を続けていきます。



市場企画部・金融市場部の社員



スタートアップ営業部の社員